

# 敬老の日 家を支える金物の力を体感 耐震グッズの正しい使い方 地震がもたらす住宅の被害 防災への意識向上で安全へ

～ 経験豊富なリフォームのプロがシニアを対象に伝える 9月17日(月)開催 ～

リフォーム事業をおこなう株式会社NEXTAGE GROUPの子会社、<sup>ネクステージ グループ</sup> MED Communications株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐々木洋寧）は、『住まいの防災セミナー』を東京都大田区にて9月17日（月）に開催します。

当セミナーは顧客から地震で起こる住宅への被害や自宅のブロッグ塀の安全性に関する問い合わせを多く受けて企画しました。そのため、今回は何世代にも渡って長く住み続け、知らない内に地震による住宅の被害を受けている可能性が高い高齢者を対象に、防災への意識を高め、安全な暮らしに役立つ情報を伝えていきます。

## ■地震によって起こる住宅への被害から防災への意識向上

目に見えてわかる地震の被害ではなくても、小さな揺れが積み重なれば家の構造に影響を与えていきます。地震によって家が倒壊するケースは、一度目の大きな地震で家を支える内部の構造がダメージを受け、その後続く余震に耐えられず倒壊するからです。

今回のセミナーでは長年住宅の点検を行うプロの講師が、地震で起こる家の内部の影響や、安全基準を満たすブロッグ塀がどのようなもの



安全基準を満たすブロッグ塀

なのかを説明します。その他にも、住宅の内部を支える金物を用意し、手で揺らしたり、力を加えたりして住宅を支える金物の力強さを体感する場

を設けています。この体験から自然災害の威力を感じるとともに防災への意識を高めてほしいと考えています。



家を支える金物

## ■シニアも安心、耐震グッズの正しい使い方を指導

地震の被害で多いのが、揺れで家具が倒れ下敷きになることや、飛散物による怪我で、それを守るのが耐震グッズです。高齢者は災害時に咄嗟の判断や素早い行動をとることが困難なため、家具を固定することで、身の安全や災害時の避難通路を確保することができます。しかし、長年住宅の点検をしていると、自宅の壁に直接つける金具や、家具を固定するポールやストッパーを適切な位置につけていない家が多く、耐震グッズの使い方についても正しい知識が必要であると感じています。

今後も引き続き、当社は、顧客の防災に関する知識を高め、安心・安全な住まいのサポートを行っていきます。

【セミナーの概要】

セミナー名： 『住まいの防災セミナー』

日時： 2018年9月17日（月）13：00～15：00

場所： 萩中集会所

住所：東京都大田区萩中三丁目25番8号

アクセス：京浜急行空港線大鳥居駅から徒歩5分

参加人数： 30名予定

内容：

- ・地震が起こることによって家を支える内部の構造への影響や、地震で倒れない安全性の高いブロッグ塀の作りについて
- ・耐震グッズを家具のどの位置に着ければ家具が倒れにくくなるのか
- ・咄嗟の判断に迷う災害時に役立つ防災クイズ

主催： メッド コミュニケーションズ  
MED Communications株式会社

問い合わせ： 0120-111-321

※ 参加者に、防災対策食品をプレゼント